

CITIZEN®

INSTRUCTION MANUAL



ENGLISH

FRANÇAIS

ESPAÑOL

DEUTSCH

ITALIANO

PORTUGUÊS

中文(繁体字)

中文(简体字)

日本語

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきます  
ようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。

シチズンのホームページ(<http://citizen.jp/>)でも操作方法がご覧いただけます。また、モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されている場合があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も、同様にご覧いただけます。

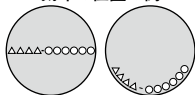
### 機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。(右図)

この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4桁が機種番号になります。

右の例では「△△△△」が機種番号です。

### 刻印の位置の例






時計によって表示位置は  
異なります。



## 安全にお使いいただくために—必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、16～25ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

## ご使用になる前に

### ■ バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)

バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

### ■ 保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ふた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。





ご使用になる前に

## ■特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

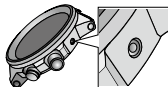
### ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 りゅうずが飛び出す まで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら 右に回し、しっかり締める
ねじロック ボタン	 ねじを左に回し、 止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、しっかり 締める

### 隠しボタン

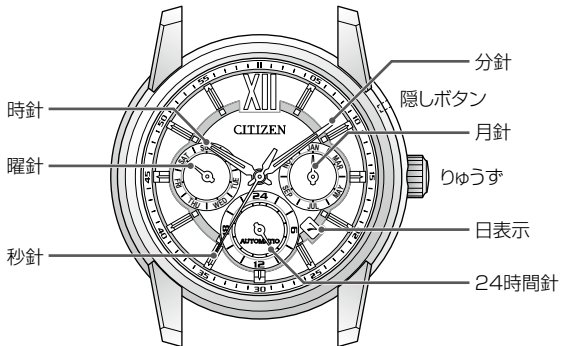
ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。



## もくじ

各部の名称.....	6
ぜんまいを巻き上げる.....	7
時刻を合わせる.....	10
日付けを合わせる(日表示早修正).....	11
曜日を合わせる(曜早修正).....	12
月を合わせる(月早修正).....	13
機械式時計について.....	14
防水性能について.....	16
お取り扱いにあたって.....	18
保証とアフターサービスについて.....	24
製品仕様.....	26

## 各部の名称



お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。



## ぜんまいを巻き上げる

この時計は、ぜんまいを原動力とする機械式自動巻時計です。

時計を腕に着けていると、腕の動きによって、時計内部の回転おもりが動き、ぜんまいが自動で巻き上げられます。

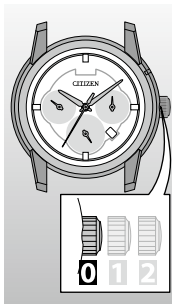
- 腕の動きが少ないときは、巻き上げが不足することもあります。
- ぜんまいが十分に巻き上げられると、時計は約42時間動きます。

時計を1日8時間以上身に着けていると、時計がおよそ一日動く分のぜんまいが自動で巻き上げられます。

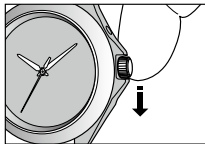
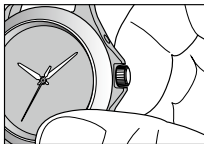
- 手でぜんまいを巻き上げることもできます。(→8ページ)

## ぜんまいを巻き上げる

### ■ ぜんまいを手で巻き上げる



- 1 りゅうずの位置を **0** にする
- 2 りゅうずを回して、ぜんまいを巻き上げる

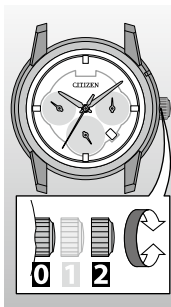


- ・ りゅうずの下側を指の腹で下方向にこするよう  
にして、りゅうずを回します。

## ぜんまいを巻き上げる

- 時計が止まった状態から、りゅうずを約40回転させると、ぜんまいは十分に巻き上げられます。
- ぜんまいが十分に巻き上げられたときにりゅうずを回しても、ぜんまいが切れる心配はありません。

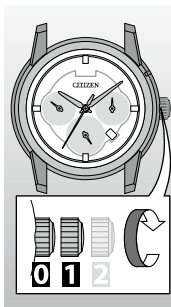
## 時刻を合わせる



時計が止まっているときは、先にぜんまいを巻き上げます。

- 1 秒針が0秒を指しているとき、りゅうずの位置を 2 にする**  
秒針が止まります。
- 2 りゅうずを回して、時刻を合わせる**  
すべての針と日表示が連動して動きます。
  - ・ 24時間針を見て、午前/午後の違いに注意します。
  - ・ 針を逆回転させたときは、連動しません。
- 3 時報などに合わせて、りゅうずの位置を 0 にして終了する**

## 日付けを合わせる(日表示早修正)



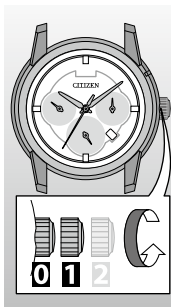
時計が午後8時から午前2時の間を表示しているときは:  
日表示早修正を行わないでください。日表示が切り替わらなくなる場合があります。

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
- 2 りゅうずを右に回して、日表示を合わせる
  - ・31日を超えるごとに、月針が動きます。
  - ・りゅうずを左に回すと、曜針が動きます。
- 3 りゅうずの位置を **0** にして終了する

この時計の日表示は31日制です。

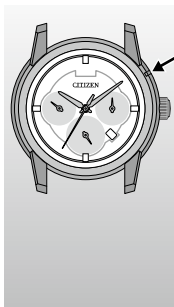
3月、5月、7月、10月、12月の各1日には、日表示の修正が必要です。

## 曜日を合わせる(曜早修正)



- 1 りゅうずの位置を **1** にする
- 2 りゅうずを左に回して、曜日を合わせる
  - ・ りゅうずを細かく動かして、曜針が曜日表示の中心を指すようにします。
  - ・ りゅうずを右に回すと、日表示が切り替わります。
- 3 りゅうずの位置を **0** にして終了する

## 月を合わせる(月早修正)



### 1 文字板の2時の位置の隠しボタンを押す

- 押すごとに、月針が動きます。
- りゅうずの位置に関わらず、月針は動きます。

# 機械式時計について

## ■ 機械式時計の精度について

本書に記載されている精度表示は、常温時における静的精度です。機械式時計の精度は、次の使用条件などにより精度範囲を超える場合があります。

- ぜんまいの巻き上げ量
- 姿勢
- 使用環境(温度/磁気/衝撃など)

### ぜんまいの巻き上げ量

機械式時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態で、最も安定した精度を維持することができます。

### 姿勢

機械式時計の精度は、重力の影響を受けて変化します。身につけているとき、時計はさまざまな姿勢(向き)になるため、重力の向きが刻々と変わり、精度に差が生じます。



## 使用環境(温度/磁気/衝撃など)

- 機械式時計は、精度を制御する部分に金属部品が使われているため、温度変化による金属の膨張、収縮の影響を受けて精度に差が生じます。
- 機械式時計は、金属の部品を使用しているため、磁力の影響を受け、精度に差が生じます。時計の精度を保つためには、強い磁気が発生する物に近づけないようにしてください。
- 強い衝撃を受けた場合も精度に差が生じます。

## ■機械式時計のお手入れについて

機械式時計は、油切れや摩耗などにより精度が不安定になります。定期的(2～3年ごと)に分解掃除(有償)をご依頼ください。また、長期のご使用による部品の摩耗などが原因の性能の劣化は、修理による初期性能への復元が困難な場合もあります。

# 防水性能について






## ⚠ 警告 防水性能について

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。  
(1barは約1気圧に相当します)
- WATER RESIST (ANT) ×× barはW.R. ×× barと表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

## 防水性能について

- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンドайビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例				
				
水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキンドайビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのリ्यूーズやボタンの操作。
×	×	×	×	×
○	×	×	×	×
○	○	×	×	×
○	○	○	×	×

## お取り扱いにあたって

### ⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

### ⚠ 注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

- ・ 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。

## **注意** 携帯時の注意

### <バンドについて>

- ・ 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- ・ 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります(脱色、接着はがれ)。  
また、かぶれの原因にもなります。
- ・ 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・ バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

## ⚠ 注意 携帯時の注意(つづき)

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)  
バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

### <温度について>

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

### <磁気について>

- 強い磁界の中では、ムーブメント部品が磁気を帯び精度が大きくずれることがあります。  
磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

### ＜ショックについて＞

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

### ＜化学薬品・ガス・水銀について＞

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

### ＜保護シールについて＞

- 時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

## ⚠ 注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらずぐに使用を中止して医師に相談してください。  
汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。



## 時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。  
金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

### 夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

# 保証とアフターサービスについて

## ＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

## ＜修理用部品の保有期間について＞

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

## ＜修理可能期間について＞

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

## ＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

### ＜定期点検(有償)について＞

- 防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要です。パッキンなどの交換をご依頼ください。

- 分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として2～3年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

### ＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

## 製品仕様

機種	9170	型式	機械式自動巻時計
使用貴石数	26石		
時間精度	平均日差-10秒~+20秒		
表示機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻: 時・分・秒・24時間</li> <li>カレンダー: 月・日・曜日</li> </ul>		
持続時間	・ 約42時間(最大巻上時)		
振動数	28,800回/時(8ビート)		

## 付加機能

- 日早修正機能
- 曜早修正機能
- 月早修正機能
- 秒停止機能
- 自動巻機能
- 手巻き機能

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

Model No.NB2 \*

Cal.9170

CTZ-B8163